仏名会御和讃





ポィント注意

- 4拍子の曲です。従って1小節の中に2つの強声部があります。
- ●第2小節の「て」の声は充分に保ちきって「とし」と軽く受ける要領をその 後も同様に。
- ●「たからかに」から「となうるきょうは」の部分は特に心をこめて。
- ●後部の「ぶつみょうえ」から「なむあみだぶつ あみだぶつ」をやさしく唱 えましょう。

ポイント注意

歌詞を味わいながらお唱えしましょう。テンポ遅くならないよう に。

最終「お念仏」は力強く、ゆっくり「あみだぶつ」とていねいに。

(歌詞は7ページ)

ぶつ みょう え 仏名会和讃

吉 田 祐 倫 作詞

- 1 時が流れて 年の瀬の 風は冷たく 空澄みぬ 仏の御名を 高らかに 称うる今日は 仏名会 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 2 古き御代より 伝え継ぐ 芸術罪障 消す法会 仏の御名を 高らかに 称え身も世も 清かれと 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 3 賞瞋痴より 出ずる罪 萱世にわたる 萱羊の 仏の御名を 高らかに 称えて懺悔 礼拝す 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 4 覚えずつくる 罪あまた 心の汚れ 拭わんと 仏の御名を 高らかに 称えて罪は 消えゆけり 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

(楽譜は8ページ)